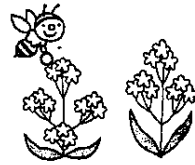


からだの学習



平成29年4月26日

NO.2

舞鶴市立若浦中学校

明日27日(木)は尿検査提出日です。

配布物 (確認してください!)

1. 検尿容器 2. 紙コップ 3. 容器を入れる青い袋 4. バーコードラベル

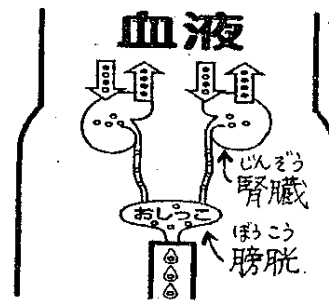
※ 忘れないように、トイレに置いておきましょう。



なぜ、尿検査をするのでしょうか?

体に異常があると、尿の中にタンパク・糖・血液が混じることがあります。尿を検査することで、腎臓の病気や糖尿病などの疑いがないかを調べます。

これらの病気は、最初は症状が出にくいので、自分では気づきにくい病気です。だから、定期的に検査をしておくことが大切なのです。



正しく検査を受けるために

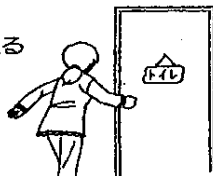
【前日】 前日から注意しておきましょう



激しい運動は控える



ビタミン入りの飲料や薬などは飲まない



寝る前に必ずトイレに行っておく

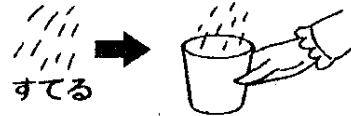
【当日】 正しいとり方をしないと異常が出ることがあります



起きたらすぐに採尿

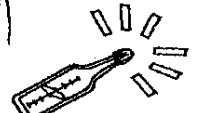


提出容器に移して手を洗う



すてる

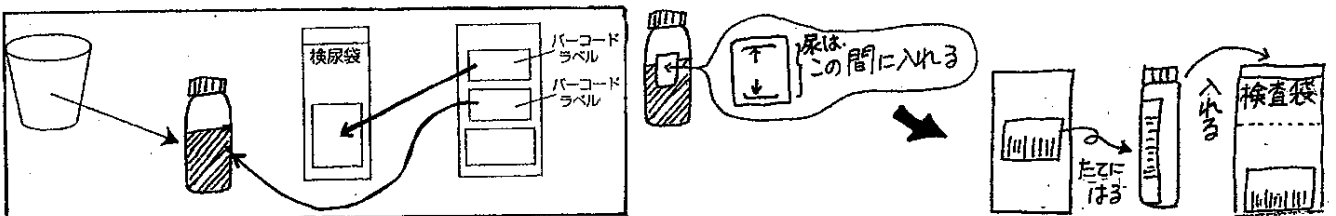
出始めの尿を少し捨ててから



名前を確認し、ふたをしっかりと閉めて提出

尿の提出方法

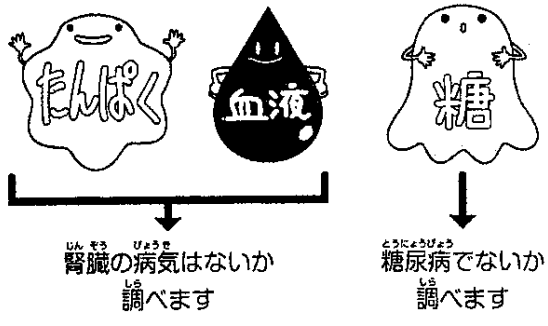
- 1 【バーコードラベル①袋用】を、青い袋に貼る。
- 2 朝、尿を入れた容器に【バーコードラベル②容器用】を貼り、青い袋に入れて口を閉じる。
- 2 学校に持参し、教室にある回収箱の、自分の番号の所に入れましょう。



- ※ 容器の【バーコードラベル】は、尿を入れてから貼りましょう。容器のふたはきちっとしめる!
 - ※ 【バーコードラベル】の貼り方をよく見て、正しく貼りましょう。
 - ※ 28日(金)の予備日にも忘れた場合は、学校で尿をとって提出します。
 - ※ 月経中など、体の都合で提出できない人は、5月15日(月)に提出します。
- 【容器・紙コップ・青い袋・バーコードラベル】を、大切に保管しておいてください。



おしっこにまじっていないか調べます



尿検査 **血尿・たんぱく尿**

- **血尿** 目で見てわからない程度に血が混じっているのが潜血で、腎臓が悪くなることはほとんどありません。また目で見てわかる血尿が出て心配ないものもあります。けれど、中には幼少期は潜血でも、進行すると血尿（赤色・コーラ色）がでる、心配な腎臓病もあるので、受診が必要です。
- **たんぱく尿** ほとんど心配ないですが、中にはネフローゼ症候群という病気のことがあるので、受診が必要です。
- **血尿とたんぱく尿** 両方があるときは、慢性腎炎の疑いがあるので受診してください。

尿検査 **尿糖（糖尿病）**

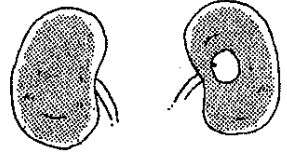
血液の中のブドウ糖をエネルギーに変えているのは、インスリンです。インスリンが足りなかったり、うまく働かなかったりすると、血液はからだをめぐるのに、筋肉や内臓に十分なエネルギーが運ばれないまま、血液の中にブドウ糖があふれてしまいます。これが糖尿病です。

尿検査で糖がまじっていても、まったく問題のない腎性糖尿の場合もあります。尿から糖が出やすいだけで、まったく心配ありません。ただ、糖尿病でないかどうかは血糖値の測定が必要なので、尿に糖が見られたら、必ず受診してください。



からだのなかの大切なもの

じんぞう（腎臓）



腎臓は腹部後壁（背中側）の上部、脊柱の両側に、左右1対あります。形はソラマメに似ていて、成人では1個あたりの重さは約150g。

血液中にある、からだに不必要なものを尿にして、からだの外に出す役目をしています。

